

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和 5 年 2 月 28 日

稚内港北防波堤ドーム予防保全事業が インフラメンテナンス プロジェクト賞を受賞しました

公益社団法人土木学会では、インフラメンテナンスにより特に地域のインフラの機能維持・向上に顕著な貢献をなし、地域社会の社会・経済・生活の改善に寄与したと認められるプロジェクトに対して表彰しています。

この度、「稚内港北防波堤ドーム予防保全事業」が評価され、インフラメンテナンス プロジェクト賞を北海道開発局で初めて受賞しましたので、お知らせします。

事業名：稚内港北防波堤ドーム予防保全事業

受賞機関：国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所

なお、表彰式については、令和5年2月27日（月）に「第2回 インフラメンテナンス・シンポジウム」（土木学会講堂 東京都新宿区四谷1丁目）において執り行われました。

「稚内港北防波堤ドーム予防保全事業」の詳細、表彰式の様子等については、別紙をご覧ください。

土木学会「2022年度 インフラメンテナンス賞の発表」についてはこちらをご覧ください。

<https://inframaintenance.jsce.or.jp/hyousyou/announcement2/>

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部
稚内港湾事務所 所長 松尾 義雄 (0162-33-2758)
稚内港湾事務所 第1工務課長 河合 淳 (0162-33-2758)
稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>
稚内開発建設部公式 Twitter アカUNT https://twitter.com/mlit_hkd_wk



「稚内港北防波堤ドーム予防保全事業」

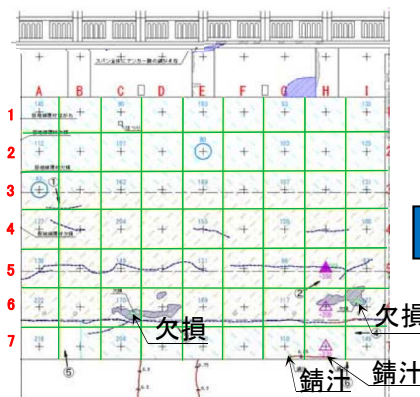
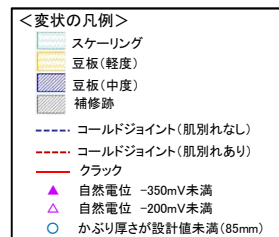
- 北防波堤ドームは、1936年竣工した後、1978年から3カ年で全面改修を行いました、再び劣化が顕在化してきました。
- 北防波堤ドームは、構造が特殊でアーチ形をした床版部の面積が広大であり、部材性能の評価や補修範囲の設定が一般的な港湾施設とは異なることから、既往の知見では要求性能に応える補修計画の立案が困難であり、独自の判断基準を考案した上で維持管理手法を構築し補修を行いました。



北防波堤ドーム全景



床版部外面の変状状況



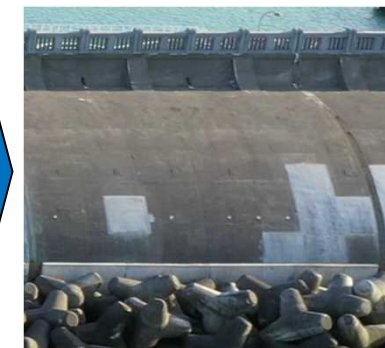
床版部外面の変状記録

＜凡例：鉄筋腐食の判定＞

- Δ $-350\text{mV} < E \leq -200\text{mV}$ 腐食の有無は不確定
- $\bigcirc$ $E \leq -350\text{mV}$ 90%以上の確率で腐食あり
- E: 自然電位

BL19										合計	76
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	計	変状P
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	9
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	9
3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	9
4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	9
5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10	10
6	1	1	3	2	1	1	1	2	3	15	15
7	1	1	1	1	1	1	4	1	1	15	15

劣化度マップ



エリア毎の補修

【取組のポイント】

変状を鉄筋腐食リスクにリンクさせた5段階の劣化度で格付けし、エリア単位で評価した「劣化度マップ」を考案。効率的かつ合理的に床版部外面の補修工事を進め、歴史的価値のある稚内港北防波堤ドームの予防保全に取り組みました。

■2月27日 土木学会講堂で行われた表彰式の様子



インフラメンテナンス表彰小委員会 伊勢勝巳委員長(右)と
稚内港湾事務所 松尾所長(左)



インフラメンテナンス プロジェクト賞 表彰状授与

